

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 国際チャート株式会社
コード番号 3956 URL <http://www.kcp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理センター長 (氏名) 島野 俊介

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 048-728-8169

平成25年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,472	△6.6	49	186.7	51	184.1	46	374.1
25年3月期第2四半期	1,576	2.3	17	107.7	18	215.5	9	74.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.83	—
25年3月期第2四半期	1.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,952	1,235	41.8
25年3月期	3,070	1,196	39.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,235百万円 25年3月期 1,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
26年3月期	—	1.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年10月28日)公表いたしました「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	4.6	60	△35.4	55	△45.7	50	△47.5	8.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	6,000,000 株	25年3月期	6,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	60 株	25年3月期	60 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,999,940 株	25年3月期2Q	5,999,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融政策や、政府の財政政策等の効果もあり、製造業を中心に景況感が改善しつつあり、個人消費にも一部に明るさが見られるものの、一方で、円安に伴い輸入原材料やエネルギーコストの上昇が進行するなど国内景気の下振れ懸念や、雇用・所得環境は依然厳しい状況が続くなど実体経済の回復までには至っておらず、全体として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下におきまして、当社は、第1四半期に引き続き、協力企業との連携強化による営業力の強化、ラベル、新規市場開拓による事業構造転換の加速、新規設備投資や加工設備の汎用化による生産力強化を目指す事業構造改革の実行など、売上拡大及び収益力の向上に、鋭意努めております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,472百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。一方、利益面では、製品の機種構成差及び原価低減並びに経費の削減等により、営業利益は49百万円（前年同四半期比186.7%増）、経常利益は51百万円（前年同四半期比184.1%増）、四半期純利益は46百万円（前年同四半期比374.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,161百万円となり、前事業年度末に比べ195百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が25百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が136百万円、その他流動資産が95百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,791百万円となり、前事業年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に生産設備投資及び情報化投資に伴い有形固定資産が65百万円、無形固定資産が10百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,952百万円となり、前事業年度末に比べ118百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は818百万円となり、前事業年度末に比べ142百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が20百万円、流動負債のその他が74百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が237百万円減少したことによるものであります。固定負債は898百万円となり、前事業年度末に比べ15百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金が14百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,717百万円となり、前事業年度末に比べ157百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,235百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益46百万円及び剰余金の配当8百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.8%（前事業年度末は39.0%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、減価償却費の計上や売上債権等の減少及び仕入債務の減少などにより77百万円の収入（前年同四半期は212百万円の収入）となりました。投資活動による支出は、有形固定資産の取得や無形固定資産の取得などにより44百万円の支出（前年同四半期は15百万円の支出）となり、これによりフリーキャッシュ・フローは33百万円（前年同四半期は196百万円）となりました。財務活動により減少した資金は、配当金の支払いなどにより8百万円の支出（前年同四半期は8百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べ25百万円増加の389百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年4月26日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

従来、当社は有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備は除く）は定額法）を採用していましたが、第1四半期会計期間より、定額法へ変更しております。

当社は、当事業年度を初年度とする「国際チャート2013年中期経営計画」を策定し、事業体制の見直しを実施しております。この結果、大口入札案件等の検針票から将来にわたり安定的に受注が見込まれるラベル製品に徐々に移行し、新規設備投資及び製造設備の汎用化により生産性の平準化と安定稼動を見込んでおります。これを契機に有形固定資産の減価償却方法を見直した結果、今後は、設備の安定的な稼動が見込まれることから使用期間にわたって費用を均等配分する定額法に変更することがより適切に事業実態を反映するものと判断いたしました。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の減価償却費が14,662千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ14,298千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	364, 298	389, 731
受取手形及び売掛金	674, 800	538, 088
商品及び製品	67, 089	61, 452
仕掛品	5, 043	6, 937
原材料	101, 798	117, 584
その他	144, 234	48, 316
貸倒引当金	△546	△487
流動資産合計	1, 356, 718	1, 161, 623
固定資産		
有形固定資産		
建物	1, 573, 326	1, 578, 352
減価償却累計額	△1, 075, 828	△1, 088, 928
建物（純額）	497, 498	489, 424
構築物	115, 188	115, 188
減価償却累計額	△89, 058	△89, 607
構築物（純額）	26, 129	25, 580
機械及び装置	1, 906, 366	1, 856, 249
減価償却累計額	△1, 688, 538	△1, 623, 003
機械及び装置（純額）	217, 828	233, 245
車両運搬具	4, 115	4, 115
減価償却累計額	△4, 106	△4, 108
車両運搬具（純額）	9	7
工具、器具及び備品	323, 177	321, 806
減価償却累計額	△295, 877	△296, 784
工具、器具及び備品（純額）	27, 299	25, 021
土地	881, 366	881, 366
建設仮勘定	—	60, 564
有形固定資産合計	1, 650, 131	1, 715, 210
無形固定資産		
ソフトウェア	17, 354	14, 931
その他	17, 931	30, 515
無形固定資産合計	35, 286	45, 446
投資その他の資産		
投資有価証券	18, 970	20, 283
その他	12, 654	12, 930
貸倒引当金	△2, 766	△2, 787
投資その他の資産合計	28, 858	30, 426
固定資産合計	1, 714, 275	1, 791, 083
資産合計	3, 070, 994	2, 952, 706

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	793, 964	556, 842
未払法人税等	12, 079	8, 526
賞与引当金	11, 048	31, 563
役員賞与引当金	—	2, 881
その他	143, 516	218, 396
流動負債合計	960, 608	818, 210
固定負債		
繰延税金負債	266, 824	265, 749
退職給付引当金	610, 215	595, 436
役員退職慰労引当金	11, 492	12, 007
資産除去債務	1, 748	1, 758
その他	23, 851	23, 851
固定負債合計	914, 132	898, 803
負債合計	1, 874, 741	1, 717, 013
純資産の部		
株主資本		
資本金	376, 800	376, 800
資本剰余金	195, 260	195, 260
利益剰余金	625, 838	663, 797
自己株式	△29	△29
株主資本合計	1, 197, 869	1, 235, 828
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1, 616	△134
評価・換算差額等合計	△1, 616	△134
純資産合計	1, 196, 253	1, 235, 693
負債純資産合計	3, 070, 994	2, 952, 706

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,576,760	1,472,704
売上原価	1,151,574	1,018,083
売上総利益	425,186	454,620
販売費及び一般管理費	408,037	405,452
営業利益	17,148	49,167
営業外収益		
受取利息	2	8
受取配当金	299	316
受取手数料	572	571
為替差益	—	1,521
保険解約返戻金	1,517	—
その他	253	142
営業外収益合計	2,644	2,560
営業外費用		
為替差損	1,542	—
その他	103	167
営業外費用合計	1,646	167
経常利益	18,147	51,561
特別損失		
固定資産処分損	401	3,313
投資有価証券評価損	7,811	—
特別損失合計	8,213	3,313
税引前四半期純利益	9,933	48,247
法人税、住民税及び事業税	929	2,019
法人税等調整額	△901	△731
法人税等合計	28	1,288
四半期純利益	9,905	46,958

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,933	48,247
減価償却費	60,983	38,161
固定資産処分損益 (△は益)	401	3,313
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,811	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	958	△37
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,520	20,515
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,653	2,881
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,636	△14,778
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,625	514
受取利息及び受取配当金	△301	△324
為替差損益 (△は益)	510	△664
売上債権等の増減額 (△は増加)	9,068	137,234
たな卸資産の増減額 (△は増加)	75,753	△12,043
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,569	△237,563
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,037	△8,084
その他	1,501	101,549
小計	214,086	78,921
利息及び配当金の受取額	301	324
法人税等の支払額	△1,802	△1,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,585	77,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,834	△23,881
無形固定資産の取得による支出	△3,178	△19,730
投資有価証券の取得による支出	△53	△63
その他	△537	△568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,604	△44,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△8,948	△8,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,948	△8,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△510	664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	187,522	25,432
現金及び現金同等物の期首残高	165,102	364,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	352,624	389,731

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。